

議員提案条例検証特別委員会

1 会議の日時	<p style="text-align: right;">開 会 午前 10 時00 分</p> <p>令和6年12月17日</p> <p style="text-align: right;">閉 会 午前 11 時25 分</p>	
2 会議の場所	<p>議会棟3階 大会議室</p>	
3 出席者	委 員	<p>委員長 佐藤 武彦、副委員長 野島 征夫 猫田 孝、岩井豊太郎、伊藤 正博、渡辺 嘉山、村下 貴夫、 森 正弘、平岩 正光、川上 哲也、小原 尚、松岡 正人、 田中 勝士、野村 美穂、加藤 大博、高殿 尚、水野 吉近、 国枝慎太郎、長屋 光征、酒向 薫、布俣 正也、広瀬 修、 伊藤 英生、中川 裕子、山内 房壽、安井 忠、森 治久、 藤本 恵司、今井 政嘉、所 竜也、平野 恭子、平野 祐也、 小川 祐輝、森 益基、黒田 芳弘、牧田 秀憲、木村 千秋、 判治 康信、今井 瑠々 (39名)</p>
	執 行 部	<p>別紙配席図のとおり</p>
4 事務局職員	<p>議会事務局長 山 田 恭 議事調査課長 若 野 明 課長補佐兼係長 西 直 人 主 任 中 島 雅 斗</p>	

5 会議に付した案件		審 査 の 結 果
件	名	
1	議員提案条例の検証について	
	(1) 岐阜県文化芸術振興基本条例	
	(2) 岐阜県花きの振興に関する条例	
2	その他	

6 議事録

○佐藤武彦委員長

ただいまから、議員提案条例検証特別委員会を開会する。

本日の委員会では、事前に通知したとおり、「岐阜県文化芸術振興基本条例」及び「岐阜県花きの振興に関する条例」について、運用状況の確認と検証を行う。

なお、執行部職員の出席については、各条例を担当する部局を中心に出席いただいていることから、あらかじめ了承を願う。

それでは、はじめに「岐阜県文化芸術振興基本条例」の検証を行う。

この条例については、前回令和2年の本委員会において書面報告での検証を行っており、そのときの結果については、配付の議員提案条例検証特別委員会報告書を抜粋した資料に記載のとおりである。

質疑、意見等については、説明が終了した後にお願います。

それでは、執行部の説明をお願いします。

(籠橋県民文化局長挨拶の後、青木県民文化局副局長が資料に基づき運用状況等を説明)

○佐藤武彦委員長

続いて、質疑に入る。

質疑は、一問一答をお願いします。

○長屋光征委員

県民に対して文化芸術に関するアンケート調査を行っているか。また、それを踏まえた上で事業を進めているのか。

○大川文化創造課長

県政モニターを対象としたアンケートを行っており、その結果を文化行政に反映している。

○長屋光征委員

県政モニターに限らず、より詳細にアンケートを行うことが、これまでの取組を発展させることにつながる。エビデンスを踏まえて、今後の方向性を決めていただきたい。

○大川文化創造課長

今年度、文化に関する県民アンケートを行う予定。この結果を踏まえて、今後の方向性を決めていく。

○平野祐也委員

コロナ後の3Dバーチャル展の取組状況は。

○大川文化創造課長

AAIC (Art Award IN THE CUBE) やぎふ美術展、青少年美術展において、3Dバーチャル展を開催している。

○平野祐也委員

アクセス数はコロナ禍とその後で変化があるか。

○大川文化創造課長

ぎふ美術展のアクセス数は、令和3年度は8,676PV(ページビュー)、令和4年度は7,733PV、令和5年度は4,088PVと、コロナ後も一定のアクセスがある。

○平野祐也委員

コロナ禍とその後では鑑賞スタイルが変わるため、費用対効果を含めて検証していただきたい。
地歌舞伎の演目等をデジタルアーカイブ化していくことが重要だが、現状はどうか。

○高井文化伝承課長

「地芝居大国ぎふWebミュージアム」において、芝居小屋の映像、公演情報、担い手のインタビュー等を掲載している。演目のアーカイブ化は各保存会で行われているが、どの程度アーカイブ化が行われているかはデータとして持ち合わせていない。

○平野祐也委員

今年度開催された「ポケモン化石博物館」は大変盛況だった。改めて企画・広報が重要だと認識した。一方、こうした企画は単発で終わってはならず、博物館等の施設の維持管理費も含めて、どう運営するかは重要な問題。今後の施設運営についてどのように考えているか。

○高井文化伝承課長

博物館に限らず県有文化施設の展示は、毎年度、ほぼ一定の予算で運営している。展示については、今年度の「ポケモン化石博物館」のような全国巡回展の誘致と、調査の成果などを発表する企画展の2つの側面がある。今後もこれらの組み合わせにより施設運営を検討していきたい。

○平岩正光委員

文化は生きる力であり、活力を生み出すもの。文化イヤーの取組を一過性に終わらせず、予算を有効に使いながら取組を進めてほしい。文化の伝承、継承の取組も大切。アンケートで県民意識をしっかりと拾い、文化に対する県民意識を醸成してほしい。

○箆橋県民文化局長

文化イヤーの成果を継承して、文化振興を進めていく。アンケートについては、県政モニターと今年度実施するアンケート結果を踏まえて、県民意識を捉えていく。費用対効果については、文化芸術は、来場者数だけで測られるものでもなく、まずは知ってもらうことが大切であると考えている。文化の伝承、継承については、いかに企業や地域住民を巻き込んで地域を盛り上げていくかが重要だと思っている。引き続き、こうした観点で取組を進めていく。

○野村美穂委員

文化財を記録したビデオテープの映像について、市町村に対し、デジタルへの変換を促すような働きかけはしているのか。

○高井文化伝承課長

働きかけそのものはしていないが、各市町村でデジタル化の取組をしていることは承知している。県も所有する古い民謡のデータを昨年度デジタル化するなど、取組を進めているところである。

○野村美穂委員

市町村に対してデジタルへの変換、保存を促すととともに、県としての支援を検討してほしい。

○高井文化伝承課長

市町村でどのように文化財のデジタル化を進めているかを確認しつつ、市町村とともにデジタル化を推進していく。

○野村美穂委員

文化芸術に興味関心のない人に興味を持ってもらうための取組はあるか。

○大川文化創造課長

AAIC2023では、インフルエンサーが行うSNSでの情報発信により、2017年開催時と比べ、来場者数が倍近く増加した。こうした事例も参考にしながら、取組を進めていく。

○野村美穂委員

一人でも多くの目に触れられるように、引き続き取り組んでいただきたい。

○水野吉近委員

学校と連携して、子どもたちが文化芸術に興味を持てるようにすることも重要。教育委員会と連携した取組は。

○大川文化創造課長

サラマンカホールでは、小・中学生を対象にふるさと魅力体験事業を実施しているほか、教育文化財団では、一流のアーティストが学校を訪問するアウトリーチ活動を実施している。引き続き教育委員会と連携して、取組を継続していく。

○水野吉近委員

県下の小・中学校に対して、偏りなく取組を行っていただきたい。

障がい者の文化芸術振興について、今後、どのような課題に対してどのように取り組んでいくのか。

○熊谷障害福祉課長

これまで、TASCぎふ（岐阜県障がい者芸術文化支援センター）を設置するなど、障がい者芸術文化活動の裾野拡大や発表機会の充実に向けた取組を進めてきているが、今後は、より多くの方に障がい者の芸術文化活動に参加していただくことが重要な課題と考えており、それに向けた取組をしていきたいと考えている。

○水野吉近委員

実際に障がい者芸術文化活動に関わっている方の声を聞かせてほしい。

○熊谷障害福祉課長

具体的なアンケート等の結果はないが、今後、様々な団体などに意見を聞きながら取組を進めていきたいと考えている。

○国枝慎太郎委員

岐阜県指定の重要文化財はすべて継承されているか。継承に係る取組に対してどういった支援があるか。

○高井文化伝承課長

県指定の文化財については、今年度所有者に対して、所在確認の悉皆調査を行っている。県指定文化財には様々な補助制度があるため、その中で保存・修理のための支援を行っている。

○国枝慎太郎委員

地域の負担にも配慮しながら、企業を含めて地域で保存・伝承に取り組んでいくモデルを市町村や保存会で立ち上げてほしい。

○小川祐輝委員

本条例が制定された平成21年当時から文化を取り巻く状況は変わった。たとえば、障がい者芸術に関する文言を盛り込むなど、条例改正を検討してはどうか。

○竈橋県民文化局長

議員提案条例のため、原則的には議員発議で行っていただければと考える。

○今井瑠々委員

SNS等を活用した情報発信について、どのように取り組んできたか。

○大川文化創造課長

SNSの活用については、事業ごとに広報戦略を立てて取り組んでいる。

○今井瑠々委員

県内の伝統文化や文化イベント等の情報に、ワンストップでアクセスできるポータルサイトが必要と考えるがどうか。

○大川文化創造課長

いただいた提案を踏まえて、今後検討していく。

○今井瑠々委員

文化芸術を担う人材の育成拠点、場所に対する取組は行っているか。

○大川文化創造課長

例えば、サラマンカホールでは子どもたちを対象とした音楽講座を開催している。美術館ではアートコミュニケーターの育成を行っている。

○森正弘委員

海津市には、100年を超える歴史がある「立野御殿万歳」を継承している保存団体があり、地元の小学校でも教えていたが、小学校の統合などにより、継承が難しくなっている。こうした伝統文化の継承への取組は。

○高井文化伝承課長

市町村の教育委員会と文化財部局が連携していく必要がある。市町村等と情報を共有しながら保存・伝承を進めていきたい。

○佐藤武彦委員長

県内の文化財のデジタルアーカイブについて、県はどこまでの範囲を実施するのか。

○高井文化伝承課長

県指定文化財は県側で、市町村指定文化財は市町村側で取組を進めるものである。

○佐藤武彦委員長

質疑等も尽きたので、これをもって「岐阜県文化芸術振興基本条例」の検証を終了する。

執行部入替えのため、しばらく休憩する。

午前10時58分休憩

午前11時02分再開

○佐藤武彦委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開する。

続いて、「岐阜県花きの振興に関する条例」の検証を行う。

この条例については、前回令和2年の本委員会において重点調査条例として検証を行っており、そのときの結果については、配付の議員提案条例検証特別委員会報告書を抜粋した資料に記載のとおりである。

質疑、意見等については、説明が終了した後をお願いする。

それでは、執行部の説明をお願いする。

(足立農政部長挨拶の後、田口農政部次長が資料に基づき運用状況等を説明)

○佐藤武彦委員長

続いて、質疑に入る。

質疑は、一問一答をお願いする。

○野村美穂委員

「ぎふ花と緑」（県産花き情報を発信）のWEBサイトを開設したのはどの部署か。

○工藤農産園芸課花き・農業環境対策監

農政部農産園芸課が開設した。

○野村美穂委員

フェイスブック、インスタグラムで情報発信しているが、フォロワー数は。

○工藤農産園芸課花き・農業環境対策監

12月10日時点で418人である。

○野村美穂委員

WEBサイトについて、都市公園課とも連携し、色々なサイトから「ぎふ花と緑」のサイトも見に来てもらえる仕組みを設けるとともに、SNSのフォロワー数を増やす取組をお願いする。

○工藤農産園芸課花き・農業環境対策監

都市公園・交通局とも連携しながら花と緑の機運を盛り上げていきたいと考えている。引き続きSNS等の情報発信を進めていく。

○野村美穂委員

高校生花いけバトルは定着してきたが、参加は華道部がメインである。花いけバトルだけでは若年層への浸透は難しいと思うが、どのように考えるか。

○田村農産園芸課花と緑の振興センター長

若年層については、小・中学校では花育、高校では花いけバトルと総合的に取り組んでいる。「清流の国ぎふ総文2024」により花いけバトルの注目度はさらに高まった。今後も新しい取組を考えたい。

○宮田農産園芸課長

若年層に対する施策については、来年度、花き振興計画を見直すので、外部の意見を踏まえて進めていきたい。

○野村美穂委員

県民に対して、プレゼントに花を贈ることを提案してはどうか。また、花は必需品でないため、物価高でなかなか手が出ない。大型商業施設だけでなく、スーパーなど仏花を扱う売り場でも、花のある暮らしをPRしてほしい。アプローチ先はいろいろあるので、生産、イベント以外でのPRを検討してはどうか。

○工藤農産園芸課花き・農業環境対策監

生花市場の買参人等に対して、スーパーなどでのPRを促すなど、後押ししていきたい。

○木村千秋委員

議場に花を飾る取組は、本条例がきっかけで始まったのか。議場はテレビ中継もあるので、高校生が生けた花を飾るとか、生けた花のテーマを紹介するなど、議会として前に押し付けていけると良いと思う。

○山田議会事務局長

議場の花飾りは、花きの振興を目的に始めた。議場の花のPRについて農政部と連携して考えていきたい。

○佐藤武彦委員長

花きの生産額が減少した原因は。

○工藤農産園芸課花き・農業環境対策監

コロナ禍による消費減退と、冠婚葬祭の縮小などライフスタイルの変化が原因の一つ。また、酷暑など近年の異常気象によって生産が難しくなり、生産者における生産拡大の意欲も低下していると捉えている。

○佐藤武彦委員長

花きの生産者数は減ったのか。

○工藤農産園芸課花き・農業環境対策監

生産者は、昨年度で413名であり、ここ5年ほどで約30名減少した。

○佐藤武彦委員長

質疑も尽きたので、これをもって、「岐阜県花きの振興に関する条例」の検証を終了する。

本日説明を受けた条例の運用状況や聴取した事項を踏まえ、配付の用紙に、取組現状の問題点や課題、委員の提案する改善策等について記入の上、1月15日（水）までに議会事務局へ提出するようお願いする。なお、本年、当委員会で検証を行った全ての条例に対するご意見等についても、期限を延長するので、積極的にご提出いただくようお願いする。

次回の委員会開催日等については、追って伝達する。

以上で、議員提案条例検証特別委員会を閉会する。

議員提案条例検証特別委員会 配席図
 (岐阜県文化芸術振興基本条例)

令和6年12月17日(火)10:00～
 議会棟3階 大会議室

			加藤 観光誘客推進課長		北村 観光資源活用課長	中野 文化創造課 文化交流推進監				
有田 全国高等学校 総文祭推進課長		中谷 清流の国ぎふ 文化祭推進課長	浅井 観光国際政策課長		渡邊 地域産業課長	熊谷 障害福祉課長		高口 文化創造課 芸術文化企画監	安居 文化創造課 文化事業推進監	江崎 文化伝承課 伝統技術支援監
細川 文化祭総務企画課長		若山 文化祭推進事務局 次長	後藤 文化祭推進事務局長		高橋 総務部次長	籠橋 県民文化局長		青木 県民文化局副局長	大川 文化創造課長	高井 文化伝承課長

委 員 席									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

委員長
 副委員長
 議会
 事務局長

議員提案条例検証特別委員会 配席図
 (岐阜県花きの振興に関する条例)

令和6年12月17日(火)10:00～
 議会棟3階 大会議室

					渡辺 農政課 農業研究企画監														
河尻 農産物流通課長		熊谷 障害福祉課長	篠田 高齢福祉課長		棚橋 高校教育課長	山田 義務教育課長		鵜飼 都市公園課長	工藤 農産園芸課 花き・農業環境対策監										長谷川 農業経営課長
佐藤 農政課長		高井 農政部次長	大野 農政部次長		高橋 総務部次長	足立 農政部長		田口 農政部次長	井戸 国際園芸アカデミー 副学長										宮田 農産園芸課長

委員 席																		
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

委員長
 副委員長
 議会
 事務局長